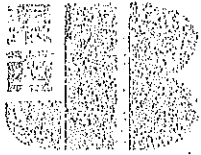


各教育関係者 様
美術科教諭 様

令和7年(2025年)8月22日

神奈川県公立中学校教育研究会美術科部会 会長 大野 郁子
県西地区教育研究大会美術科部会運営委員長 加藤 直樹



第52回神奈川県公立中学校 教育研究会美術科部会研究大会 県西地区大会【最終案内】

【大会テーマ】

「うけつぐ・つなぐ・ひろげる」

今回の県西地区大会では、「資質・能力の育成に着目した授業づくりや学習評価の改善」に関する研究発表をします。小田原・足柄下地区と足柄上・南地区がそれぞれ取り組んでいる授業改善を踏まえた提案を行います。参加した先生方にとって有意義な大会になり、今後の授業に生かせるような内容になっていると思います。ぜひ、ご参加ください。

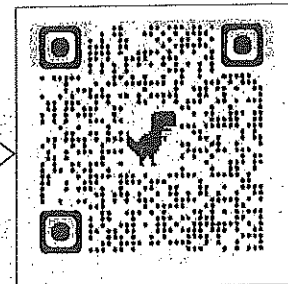
- ☐ 日時 令和7年11月7日(金) 受付12:00～(開会12:30～)
- ☐ 会場 小田原市生涯学習センターけやき 〒250-8555 小田原市荻窪300
- ☐ 大会日程

12:00～12:30	12:30～13:10	13:15～14:20	14:30～15:00	15:10～16:00	16:05～16:40
受付	開会式 基調提案	研究発表	カンファレンス	記念講演会	閉会式

【主催】 神奈川県公立中学校教育研究会 美術科部会
第52回研究大会県西地区大会運営委員会

【後援】 神奈川県教育委員会 小田原市教育委員会 箱根町教育委員会 真鶴町教育委員会
湯河原町教育委員会 南足柄市教育委員会 中井町教育委員会 大井町教育委員会
松田町教育委員会 山北町教育委員会 開成町教育委員会

参加申し込みはこちらからの Google Form からお願いします。
大会参加者は役員、OB、研究部員、実行委員も含め、右の QR コードより個人で申し込みをしてください。**申し込み期限は9月30日(火)**です。



研究発表①	小田原・足柄下地区の研究発表
8年前に県西地区では、地区のすべての中学校対象に「授業アンケート」を実施しました。その授業アンケートの中で、低かった項目が2つありました。それは「美術の学習は普段の生活に役に立つと思いますか？」と「美術は社会に出てから生かされる教科だと思いますか？」の2つです。今回の大会でも、8年前と全く同じ項目でアンケートを実施しました。それらのアンケートの比較から、生徒の学びを深めるために「評価規準の大切さ」が見えてきました。その視点に着目した実践事例を紹介します。	

研究発表②	足柄・上南地区の研究発表
それぞれの学校の教育目標の実現を目指して特色ある教育活動を行うとともに、授業を通じて21世紀型の学力を育成することが求められています。あらゆる教科で授業改善が進められていくなかで、美術はどのようなことができるのかという点について、「資質・能力の育成」を視点にカリキュラムマネジメントを中心とした実践を紹介します。	

カンファレンス
授業について考えるとき、「授業に関わる者が皆で」一緒に協議することが大切です。授業者（提案者）や参観者はもちろん学習者（生徒）や時には保護者を加えることも重要です。「子どものこえ」を聴くために、県西地区のいくつかの学校ではこのような形で研究協議を実施して、授業改善が進められています。本研究大会では、県内の美術教育に携わる者が皆で一緒に授業について考え、意見を交換する場を設定しました。

◆記念講演会 演題「中学校美術科における評価の意味

—指導と評価の一体化から考える—

講師 小池 研二 氏

- ・横浜国立大学教育学部 教授
- ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説美術編の専門的協力者として参加し執筆を分担

アクセス

【最寄駅】JR 東日本・JR 東海→小田原駅

小田急線→小田原駅または足柄駅

大雄山線→小田原駅または緑町駅

【行き方】

バスの場合

小田原駅東口から久野車庫・船原・小田原フラワーガーデン方面（2番のりば）→市役所前下車

小田原駅西口から久野車庫・兎河原循環方面（2番のりば）→市役所前下車

徒歩の場合

小田原駅西口から徒歩約15分

小田急線足柄駅から徒歩約15分

大雄山線井細田駅から徒歩約15分

連絡先 県西地区（7ブロック）

小田原市立白鷗中学校 國井 俊寿

〒250-0003 小田原市東町 4-13-1 Tel 0465-34-1736 Fax 0465-32-7584